



滋賀短期大学 学 報

2012. 6. 1

No. 71

〒520-0803 大津市竜が丘24-4 滋賀短期大学 広報・図書委員会 電話(077)524-3605

ホームページアドレス <http://www.sumire.ac.jp/tandai/>



“Notere terre nourricière”

1990年制作 銅版画

[大阪府所蔵／20世紀美術コレクション]

名誉教授 桜井 貞夫 作

学長の就任にあたって

学 長 佐藤 尚武



このたび、板倉安正前学長のあとを受けて、伝統ある滋賀短期大学の学長に就任いたしました。就任にあたって松村文夫理事長から学園の歩みを伺い、また前学長の板倉安正先生からは引き継ぎを受け、その職責の重さに身の

引き締まる思いがしております。微力ながら、専心努めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

純美禮学園は開学以来94年の歴史を有しており、短期大学としては42年目を、そして共学になって5年目を迎えています。卒業生は1万3千人余りとなっています。このような歩みを通して、純美禮学園はここ大津の地にどっしりと根を下ろし、着実に発展してきた学園であり、短期大学であると、改めて感じ入っているところであります。

本学の建学の精神は「心技一如」であり、学園創設者の中野富美先生の指導方針が引き継がれています。実にいい響きのある言葉であり、人間としての深まりのなかで創り出される技の尊さを説いていることは容易に推察することができます。本学において実学として技を身につけるにあたって、職業人として巣立っていくにあたって、その学びの大切さが脈々と受け継がれ、この精神が卒業後も学生の心に留めおかれるように、これまでの教職員が一致団結して教育を進めてこられたことに、心から敬意を表したく存じます。

この「心技一如」の建学の精神をもとに教育理念が構想され、その理念に則って教育目標が定められ、その教育を実現するために、一人ひとりを大切にする「よい教育」を行動指針としています。具体的には教員は「わかる授業」を目指し、また「学生と真剣に向き合う教育支援」を目指して取り組んでいるところです。まだ2ヶ月ばかりの状況ですが、いくつかの会議を通して、またいろいろな教育場面を通して、手厚い教育がなされている

ことを伺い知ることができています。このような行動指針に伴う教育を再確認し、教職員は一丸となってより高めていく必要性を感じております。

ところで、本学の学びは時代の要請に応じた実学教育であり、実社会に出て、本当に役立つ知識や技術を身につける学びであります。豊かな教養を身につけることはもちろんのことですが、実際の職場に関わる人たちと向き合える能力、あるいは職場のいろいろな課題に向き合える能力が大切です。また、将来に遭遇するさまざまな変化に対応できる能力を備えることも大切です。このような能力を身につけるにあたっては、まず、ここ大津のキャンパスに自分の足でしっかりと立ってほしいと願っています。どういうことかといいますと、自分で考え、自分で判断し、自分で行動することが求められるからです。そして、その結果については自分で責任がとれることが必要であるからです。

その上で、本学での学びは「学びを志す」ということを出発にしてほしいと願っています。「志」という字は、心が歩く姿、つまり心のゆくところを表しているといわれています。志を立てる学びが深まるほど、自分を律する力を培っていきます。短期大学の学生生活においては、自分で立つ「自立」と、自分を律する「自律」とを意識して歩んでいただきたいと願っています。

今日的な学生気質として、職業に対しては「特技や適性を生かした職業に就きたい」という思いが強いといわれています。このことはよく考えてみますと、「少ない努力で、高い評価を受ける仕事を求めている」とも受け取れます。つまり、すでに自分がもっている能力や知識で対価を求めているのであって、仕事を通して自分が変化し、対応できる力をつけていくことをあまり考えていないのでないかということです。消費者マインドがもたらす弊害とも指摘されています。そういうことであれば、あまり学ばないで卒業できればそれに越したことはないと考えている学生が多いのかも知れません。少ない学習努力で高い成果を求める学生ではなく、賢い消費者から目先の評価にこだわらない若者に変身し、新たな学びに向き合っていただければと願わずにはおれません。

平成24年度 入学式



この4月3日、本学体育館において、来賓・保護者各位の立ち合いのもと、平成24年度の入学式がとりおこな

われました。生活学科71名、幼児教育保育学科160名、ビジネスコミュニケーション学科97名が入学の許可を受け、佐藤新学長から新入学生への式辞がありました。本学の教育理念は創立者の唱えた心技一如であり、学問の探求をととして人間性を高める実学の精神であること、学生としての心構えとして自らの判断で行動し自己を律する能力を身につけることの大切さが述べられました。新たなスタートを切る入学者たちの表情からは、緊張のなかにも目標に向かって取り組もうという決意を感じ取ることができました。2年は短い。すべての学生が全力をつくし充実した学生生活を送れるように応援したいと思います。（広報・図書委員 准教授 杉山 潤）

フレッシュマンセミナー

毎年恒例のフレッシュマンセミナーが、平成24年4月6日に大津プリンスホテルで行われました。佐藤尚武新学長と山本剛史学生部長のご挨拶のあと、特別講演では能楽師の吉浪壽晃先生に、「能とは何か」について、所作や謡などの実演を交えて解説していただきました。また、普通では見ることのできない能衣装の着替えの様子も、解説を交えながら見せていただき、学生は興味をもって聞き入っていました。つづいて柚木先生、奥田先生と2回生による学歌の練習が行われメロディだけでなく歌詞の捉え方も丁寧



に説明していただきました。その後、越智先生から煙草とアルコールについての講義があり、学生はその危険性を認識したようでした。プリンスホテルの角田秀人支配人からは、実際に食事をしながら、テーブルマナーについて詳細に教えていただきました。最後のオリエンテーションは学科別に行われました。生活学科と幼児教育保育学科では社会人あるいは2回生の先輩を交えての交流が行われ、ビジネスコミュニケーション学科では、教職員や学生同士がお互いの理解を深めるための、ゲームの要素を取り入れた取り組みが行われました。

今回多くの人の話を聞き、交流することでたくさんのことを学んだように、これからも人との出会いを通じて大きく成長していただきたいと思います。

（学生支援委員 講師 江見 和明）

自治会活動とは

学生自治会長 **大黒 将史**（ビジネスコミュニケーション学科2回生）

皆さん、学生自治会の活動を知っていますか？4月から入学された新入生にはこれから知ってもらい、2回生の方々にはさらに知ってもらいたいと思います。

私たち学生自治会は、大きく2つの仕事をしています。6月にある体育大会、11月にある純美禮祭の準備・運営です。実際に経験しないと分からないことがたくさんありますが、教職員の方々のサポートなどもあり、やりとげる難しさと楽しさを感じてもらえると思います。

この2つだけではなく学生団体の活動にも参加していて、他大学との交流の機会もあります。外部の企業の方との

話し合いなどもあり、様々な経験が出来ます。

短大生活は思っているよりも早く過ぎていきます。何かをしてみたい、そんな事を考えている方はぜひ一度自治会室を覗きにきてください。お待ちしております。



役職教員あいさつ



試練はチャンス

教務部長 教授 越後 哲治

皆さんは夢と希望を持って、本学、学科、コースを選ばれたでしょう。目的、目標が定まると、その実現に向けて計画を立て、努力することができます。しかしいつも順調とは限りません。そこで不安、疲れが出、それでも頑張るとなると、苦しみも出てきます。

辛いこと、苦しいことの克服の一つの方法は、マイナスに思えるものをプラスに受け取ること、これは簡単ではないかもしれませんが、大切な心の持ち方だと思います。物事がうまくいかないとき

に、改善に取り組むことによって、問題解決能力を身につけ、試練に耐え抜く力が身につきます。試練はチャンスです。

それと、一人で悩まず友達や大学の教職員、ご家族と相談してください。人間誰しも、他者を思いやる気持ち、「愛の心」を持っています。自分が心を開いて相談すれば、相手の人も心を開いてくれます。こうして大学時代に助け合った友や教師は、生涯の友、生涯の師となると思います。

皆さんの充実した短大生活を期待しています



充実した2年間と将来に向けて

学生部長・学生支援センター長 教授 山本 剛史

みなさん、4月から短大生活が始まりはや約2か月が経とうとしていますが、いかがですか？短期大学での2年間はみなさんが社会に旅立つ準備段階の期間であり、人生の中でも本当に重要な期間であると思います。

この2年間は皆さんにとって決して楽しい時や嬉しい時ばかりではありません。辛い時や厳しい時間を過ごすこともあるでしょう。腹を立てる事やがっかりする出来事もあるかもしれません。しかし、そんな時こそ皆さん自身が試されている時

であり、自分自身の実力をアップ出来るチャンスだと思います。

そんな時、自分が直面している事柄としっかりと向き合って、立ち向かっていって欲しいと思います。

そしてそこにはあなたの事を支えてくれたり、良きアドバイスをくれる人が必ずいるはずです。その人たちとしっかりと交流し、充実した2年間を送ってください。みなさんの将来のために…。



良き書との邂逅 ―図書館利用促進を目指して―

図書館長 教授 柿木 重宣

この度、櫻井貞夫前図書館長の後継として、図書館長及び広報・図書委員長に就任することになりました。浅学菲才の私に、どれ程の仕事ができるのか、心許ない限りでございますが、委員の教職員の方々のご協力も得て、精一杯精進していく所存でございます。

近年、携帯電話の急速な普及により、言語学界においても、「メール言語」という用語が定着し、「言文一致の変種体」ともいえるべき若者独自のメールの文体が使われるようになりました。しかし、私自身は、メール言語とはあくまで「打つ」文であり、原稿用紙を用いて「書く」文とは似て非な

るものと考えております。新入生の皆さんにとっては、二年間という短い期間ですが、良き書との邂逅^{かいこう}を実現し、ぜひ真の「書く」力を身につけてほしいと深甚より願って止みません。幸い、本学の図書館は、概ね八万冊という蔵書を有しており、「美しい日本語コンクール」をはじめ、図書館の活用を促進しようとする配慮がなされています。

良き書との巡りあいは、生涯の友と出会うことに相通じることであり、自らの内面をもう一度見つめ直す契機にもなります。

少しでも多くの学生の皆さんが、図書館を大いに利用してくれることを切に望む次第です。

学 科 長 あ い さ つ



生活学科で学ぶ意義

生活学科長 教授 木谷 康子

東日本大震災から1年あまり経ちました。この間、私たちの関心は、生活の安心・安全というところにあったと思います。そして、食を中心に多くの情報が流れ、それに翻弄されたという感が否めません。このような今回の震災での体験を待つまでもなく、現代の生活は溢れるほど多くの情報やモノに囲まれ、必要なものを選ぶだけで何不自由なく生活していけるように思いがちですが、だからこそ私達には、それらの真偽を見分け、取捨選択し、活用する力が求められているといえます。

生活学科で学ぶ学生にとって、免許・資格の取得は大きな目的となっており、卒業後はそれを生かして働きたいという夢を持っていることでしょう。けれども、

毎日の生活が健やかであってはいじめて、仕事に全力投球できるのではないのでしょうか。

つまり、生活学科での学びの第一の意義は、衣・食・住に関する知識や技術を基礎から学び、それをもとに自分自身で考え判断する態度を培い、めまぐるしく変化発展する社会に柔軟に対応できる力を身につけた生活者となり、自分自身の毎日の生活を平穏無事に営むことにあるといえます。そのうえで、身につけた専門の知識・技術を仕事場で生かし、社会に還元していくことです。

このように2年間の学びは、個人と社会の福祉の向上に貢献できるものといえるでしょう。おおいに勉学に励んでいただきたいと思います。



子ども・子育て新システムにむけて

幼児教育保育学科長 教授 奥田 恵子

幼児教育保育学科では、幼児教育保育に関する専門の知識と技術を授け、時代や社会の要請に応え得る幼稚園教諭や保育士等の人材の育成を目的としています。また国は、乳幼児期の保育と教育が生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものであり、子どもの健やかな育ちは我が国の最大の資源である人づくりの基礎であり、子どもの育ちと子育てを支援することは未来への投資であると考えております。そして平成25年度から幼保一体化の方向で、子ども・子育て新システムを作ろうと動いています。

本学科では、この新しい動きに対応できるように幼

稚園免許と保育士の両方を取得できるよう一人ひとりを応援し、「よい保育者」となれるように「よい教育」を目指しています。2年間で3年分の内容を学ぶというハードな短大生活になると思いますが、夢に向かって、あきらめず、頑張ってください。

また、この2年間で知識と技術を身に付け、人間性を磨き、社会人として責任ある行動がとれるよう成長していただきたいと心から願っています。そして本学に来てよかったと思えるような充実した学生生活を送っていただきたいと思います。



新しい時代の知識とスキル・豊かな人間性を身に付けよう

ビジネスコミュニケーション学科長 教授 小山内 幸治

近年、インターネットの普及によって情報や流通の国際化が進むとともに、IT (ICT) 機器のモバイル化が進み、コミュニケーションのあり方が大きく変化してきました。これにより、従来のビジネスモデルが通用しない時代がやってきました。このようななかで、ビジネスにおけるコミュニケーションを学ぶことは、非常に有意義で重要なことだと考えます。

本学科では実社会と密接に関わりをもった5つのコースを設け、全員にビジネスやIT (ICT) の知識・スキルを身につけさせたいと、それぞれのコースの目的に応じた深い知識や高いスキルを授けています。

また、多くの資格・免許を取得できるようにカリキュラムを組んでおります。

さらに、人間性に富んだ学生を育てることも本学科の目的の一つです。人間性豊かで、協調性に富み、実社会で活躍できるビジネスパーソンを育成するために教職員が学生と真剣に向き合い、情熱をもって教育および指導を行なっています。

みなさんには、本学在学中の2年間で、社会で自信をもって活躍できるだけの知識とスキルを身につけ、また人間性を涵養して、企業が採用したくなるような人材になっていただきたいと思います。

新入教員あいさつ



楽しく一緒に学びましょう！

生活学科 特任教授 **金丸 政義**

今年の4月より、生活学科で専任として勤めることになりました金丸政義です。製菓や製パンの実習を中心に担当させていただきます。

今までは非常勤として週に1日か2日ぐらしか学校にいませんでしたが、これからは毎日いま

すので何でも気軽に相談しに来て下さい。学生の皆さんが充実した学生生活が送れるよう、全力でサポートしていきます。

一緒に楽しく学んでいきましょう！



人生を楽しむために

生活学科 特任准教授 **戸田 賀志子**

膳所駅の改札を抜け、滋賀短期大学の校門まで続く長い急な坂を登るようになって12回目の春です。非常勤講師として生活クリエイトコースの服飾関連科目を担当してきましたが、今年度から衣生活論、色彩論で生活学科の皆さん全員と学びの時間を持つこととなりました。

衣服は、わたしたちに一番近い環境であり、誕

生から老年期に至るまでともにあるモノです。また、色彩はわたしたちが目にするすべてのモノにあります。わたしたちの生活と密接に関わる「衣服」と「色彩」について深く知ることは、みなさんの人生を豊かにすることにも通じます。

ともに学び、生活をそして人生を楽しみましょう。



依って立つところ

幼児教育保育学科 准教授 **北尾 岳夫**

長らく、体育系科目の非常勤講師としてお世話になってきましたが、今年度より准教授として勤めることとなりました。20年近くになるであろう滋賀短との関わりは、私の大学教員生活の歴史の中で、非常に大きなウエイトを占めています。私個人の、大学教員としての基本的なスタンスを身につけさせてくれたのは、この学校であると言っ

ても過言ではありません。滋賀短は、今の私の“依って立つところ”であると言えるでしょう。主役である学生はもちろん、教職員の方々も含め、在籍したことを生涯の誇りに思えるような、“依って立つところ”となる学校づくりに、微力ながら貢献できればと思っております。これからも、よろしく願いいたします。



未来を見つめて

幼児教育保育学科 准教授 **深尾 秀一**

この4月から幼児教育保育学科でお世話になることになりました。美術を見る目、図画工作などを担当させていただきます。様々な美術作品の考察や作品制作をとおして、知識や技術の習得だけでなく感性や表現力も高められるようサポートします。

また、最近“多様性”ということがいろいろな

分野で重要視されてきています。ひとりひとりを大切に、すべての子どもが笑顔で毎日を過ごせるよう、一歩進んだ保育者を目指しましょう。2年後の卒業だけではなく、未来の皆さんと社会がどのような状態になっているべきかを目標におき、この2年間一緒に考え歩みたいと思います。よろしく願いいたします。

新入教員あいさつ



ともに大いに学びましょう！

幼児教育保育学科 講師 松木 宏史

この4月から幼児教育保育学科でお世話になっております。専門は社会福祉学で、「社会福祉」「相談援助」「保育相談支援」そして施設実習の指導を担当させていただきます。

本学科では、「子どもと関わる仕事に就きたい」「子どもが大好き」という学生さんが多いかと思います。そうした気持ちを忘れることなく、学生の皆さんが有意義に勉強できるよう、保育・幼児

教育・児童福祉の現場へはばたけるよう後押ししていきたいと思います。

子どもたちを取り巻く生活環境は複雑化しています。虐待・育児放棄・子どもの貧困といった社会問題は、何を背景に拡がって、どのような対策が求められているのか…。学生さんたちと一緒に、私も大いに学びたいと思います。よろしくお願いいたします。



あんな苦手も こんな苦手も プラス思考で学びましょう

幼児教育保育学科 特任准教授 前川 頼子

この4月より、幼児教育保育学科でお世話になることになりました。保育内容総論・教育実習事前事後指導・保育実習の指導等を担当させていただきます。

私は、35年間保育の現場で、子どもたちと共に過ごす中、子どもたちが熱中して遊ぶ姿に、保育者として魅力的な保育環境をどのように創造して

いくか？など、このことが、とてもうれしいことであり、やりがいのある職業でした。

今までの私が経験してきたことを、みなさんに伝えていくことで、「保育者になりたい」という熱意がもてるように、沢山チャレンジして、共に学びましょう。



基礎医学と健康の分野で応援します

ビジネスコミュニケーション学科 特任教授 陣内 皓之祐

この4月からビジコミ学科でお世話になります陣内皓之祐です。ビジコミ学科では、今年から新設された日本医師会認定医療秘書資格コースには必須となる医学基礎Ⅰ、Ⅲ、およびⅣなど基礎医学の講義を担当致します。この資格の認定にはかなり多数の単位取得が必要ですが、一人でも多く

の方が認定を獲得できるよう応援いたします。また、2年前から生活学科食健康コースで非常勤講師として解剖生理学と生理学の講義を担当してきましたが、こちらも引き続き担当させていただきますのでよろしくお願い致します。



働くことが好きになるように

ビジネスコミュニケーション学科 特任教授 清水 たま子

働くことは楽しい。遊ぶことはもっと楽しい。日々の生活のためにも、折々遊ぶためにも、働くことが基本です。だから、できるだけ楽しく働きたい。私自身が、今、そんな実感をもっています。このようなことを実務の授業をとおして、学生にうまく伝えられたらいいと思っています。

研究室の窓からは琵琶湖を望む美しい風景が見

られ、学内では、理事長、学長以下、教職員のそれぞれが織り成す人間味溢れるふれあいがあって、心が洗われるような思いがいたします。滋賀短期大学で働ける喜びをかみしめています。歳だからと、自ら言わないように、そして、言われないように一生懸命働きますのでよろしくお願いいたします。

卒業証書・学位記授与式



平成24年3月15日、第41回滋賀短期大学卒業証書・学位記授与式が、厳かな雰囲気の中、挙行されました。学歌斉唱のあと、卒業生一人一人の氏名が読み上げられ、各学科の代表者に卒業証書・学位記が手渡されました。

板倉学長は卒業生に向けて「自然にも人間社会にも享受できる豊かさ、暖かさと共に、立ち向かっていかねばならない困難が存在しているが、いかなる困難があろうともチャレンジする勇気を持とう。」「みなさんの明るく大きな未来を信じ、期待しています。」という式辞を贈られました。

生活学科の水田弥生さんが卒業生代表として謝辞

と今後の決意を述べました。また、卒業生から大学への記念品として学内情報掲示用の「電子掲示板」の目録が贈呈されました。

本年度は、生活学科、幼児教育保育学科、ビジネスコミュニケーション学科から男子学生26名を含む282名が卒業しました。なお、式典後には学長賞授与、免許状・資格証明書・認定証交付および資格関係協会からの表彰者披露が行われました。

華やかな衣装に身を包んだ卒業生たちは緊張の面持ちで、社会に巣立つ決意をあらたにしていました。今後の卒業生のみなさんのご活躍をお祈りいたします。



(元広報・図書委員 教授 小山内 幸治)

卒業記念パーティー

卒業記念パーティーが、卒業証書・学位記授与式の後、会場を大津プリンスホテルに移して、華やかに行われました。卒業生は、短大生活の中で出会った友人や教職員と一緒に思い出に花を咲かせ、写真撮影をして、学生生活最後の時間を惜しむかのように過ごしていました。

最初に、今年度でご退職される10名の教職員の紹介とご挨拶、そして花束贈呈が行われました。出し物のカラオケでは、歌やダンス、サプライズイベントもあり、盛り上がりしました。恒例になった終盤の短大生活のライドショーでは、2年間の短くも濃厚な学生生活がそれぞれの胸に思い出されたのではないのでしょうか。

卒業生のみなさんが、本学で学んだことや出会った人を大切に、自分に自信を持ち幸せな人生を歩み、ご活躍されることをお祈りしています。そして、成長したみなさんの姿を見ることを、教職員一同、楽しみにしています。いつでも遊びに来てくださいね。



(元学生支援委員 准教授 長尾 綾子)

同窓会だより

新入会員のお知らせ

○平成24年度新入会員

生活学科…………… 70名
 幼児教育保育学科……………122名
 ビジネスコミュニケーション学科… 90名 計282名

○年次評議員

生活学科：奥田 藍さん、西 美咲さん
 幼児教育保育学科：寺西夏紀さん、村田未那美さん
 ビジネスコミュニケーション学科：
 瀧本彩葉さん、吉田汐里さん

○評議員 寺西夏紀さん

平成24年度同窓会総会・懇談会のご案内

今年度は総会の後に、アクセサリー作りを行ないます。
 本学名誉教授の成田巳代子先生と生活学科の戸田賀志子先生にご指導をいただき、世界でひとつの手作りアクセ

サリーをみんなで楽しく作りましょう。ご参加をお待ちしております。

○日 時：平成24年7月1日(日)

9：00～ 受付（玄関ホール）
 9：30～ 総会
 10：00～ アクセサリー作り（232教室）
 12：30～ 懇談会（本学食堂）

○持参品：裁縫用具

○会 費：1,000円（当日受付にて徴収します）

○申込み方法：

- ①6月上旬頃送付する総会案内同封の葉書で申込む
- ②下記FAXで、送信する
 会員番号・氏名・住所・電話番号を記入のうえ、
 同窓会事務局宛077-523-5124

○申込み締切日：平成24年6月20日(水)

平成23年度 就職状況について

学生支援課 主任 松田 美枝

この一年の学生の様子を振り返ってみますと、平成20年度途中からの長引く不況や東日本大震災の影響で、就職活動においても「厳しい」という言葉がついて回ることもあり、「早々に就職活動に取り組まなければ!」という意識の元に、早い段階で積極的に就職活動に取り組む意欲的な学生の姿が見受けられました。ところがよくよく話をしてみると、気持ちが先走るあまり「企業研究」や「自己分析」といった就職活動に不可欠な作業を十分に行わないまま、「とりあえず内定を」と、内定をもらうことのみに焦点を合わせた就職活動をする人が目立つように思います。

もちろん内定を得なければ働くことはできません。ですが、内定をもらった後に冷静になり、やっぱり無理だと辞退するのは良くありません。就職活動では「働き続けていける職場探し」をしてもらいたいものです。

平成23年度卒業生の就職率は、生活学科98%、幼児教育保育学科100%、ビジネスコミュニケーション学科95.5%になりました。どうかそれぞれの活躍の場に愛着を感じ、多くのことを学び、仕事にやりがいを感じられるようになって下さい。皆様の更なるご活躍をお祈り致します。

資格取得状況

●生活学科

中学校教諭二種免許（家庭）…………… 3名
 栄養教諭二種免許…………… 7名
 フードスペシャリスト…………… 17名
 訪問介護員2級…………… 8名
 製菓衛生師受験資格…………… 30名
 栄養士…………… 19名

●幼児教育保育学科

幼稚園教諭二種免許…………… 102名
 保育士資格…………… 99名
 児童厚生2級指導員…………… 35名

●ビジネスコミュニケーション学科

上級秘書士…………… 17名
 上級情報処理士…………… 11名
 秘書士…………… 60名
 情報処理士…………… 57名
 医事管理士…………… 44名
 医療管理秘書士…………… 36名
 レクリエーション・インストラクター…………… 9名
 訪問介護員2級…………… 1名

先輩からのメッセージ

目標としていた栄養士として就職

生活学科 2011年度卒業生 日下部 愛



私はテレビを見ていて、食べ物が良くも悪くも体にいろいろな影響を与えることを知り、自分が健康で生きていくためには食について知る必要があると感じました。また、自分だけでなく周りの人も健康でいられるよう、栄養士になりたいと思い、生活学科の食健康コースに進学しました。

在学中の授業では、調理学実習で料理のレパートリーが増え、給食経営管理実習では100人分の食事を調理し、大変でしたが作りがいもありました。地域伝統食実習では、見たことも聞いたこともなかった食事を作って食べることができ、楽しかった印象があります。サークル活動（キッ

ンキッチン）では子供たちに料理を教えたり、商品開発をしたりと、貴重な体験をさせてもらいました。

現在は栄養士として、病院に勤務しています。患者さんの病状に合わせて、細かく刻んで飲み込みやすくしたり、盛り付けにも工夫がいらいます。今はまだ慣れていないので、すごく時間がかかってしまっていますが、早く仕事の内容を覚えて、一人でもこなせるようになりたいです。

就職活動中はなかなか決まらなくて焦りましたが、先生の紹介で決めることができました。悩んでいるときも学務課の先生が相談に乗ってくださり、とても助かりました。このように、先生と学生の距離が近いので、気軽に話をしたり、相談できることが滋賀短期大学の魅力だと思います。皆さんも一人でも悩まず、先生方と相談し、目標に向かって進んでください。

目標を1つ作り、充実した2年間に

幼児教育保育学科 2010年度卒業生 西島 佐智子



私は身内に保育者や公務員が多く、滋賀短期大学に入学する前から公務員として保育者として働きたいという気持ちが強くありました。そのために1回生から無料である公務員講座や公務員模擬試験などたくさん経験してきました。また、保育者用と限らないMOS資格などもこの短大では取れるので、取得できる資格は積極的に取りました。

保育者になるためには、たくさんの知識・技術も必要です。毎回の授業を大切にし、資格には必要のない選択科目も多く受け、自分の力量になるよう励んできました。また、部活

動などに入るのも大切だと思います。私の場合は、学生自治会・硬式テニス部・調理クラブ・美術部に取り組み、ボランティアにも積極的に参加しました。部活動などを通して、短大の場所だけでなく、色々な人と関わることで、自分の場所が広がると思います。また、仲間も増え、社会人の今も辛いことや苦しいことがあった時に分かち合える、一生の仲間ができました。

短大生活は2年間ととても短く、何かを始めようと思っても、何からやればいいのかかわからず、時間だけが過ぎてしまいます。何か1つ。目標をもつことで、それに向かって色々なことに挑戦できると思います。苦しい時は、先生方や仲間など、たくさんの方が支えてくれます。今頑張ればきっと努力は実り、願いは叶うと思うので挑戦してみてください。私も目標だった公務員として保育者として頑張っています。（草津市立第三保育所勤務）

私の仕事

ビジネスコミュニケーション学科 2008年度卒業

出水田 恭子



私は今、自動車販売のショールームで受付をしています。お客様を一番初めに迎え応対するところにいるのでお店のイメージにつながります。お客様に気持ちよくご来店いただけるように応対には気を使っています。

私はビジネスコミュニケーション学科のホスピタリティビジネスコースを卒業しました。初めは医療関係での就職を考えていましたが、接客の仕事がしたいと思い、今の職場に就職しました。お客様の応対については、まだまだ勉強することがありますが、いろんな方と接することができて毎日とても良い刺激になります。接

客マナーや敬語の使い方、お礼状の作成など、学校で学んだことが活かせる部分も多くあるので、滋賀短期大学の学生さんには今勉強されていることをしっかり習得して自分の力にしてほしいと思います。どんな仕事に就いても、学生時代に学んだことが必ず役に立つと思います。毎日している受付業務はお客様のデータ入力やお出迎え、お見送り、呈茶、書類処理、ショールームの管理などです。最近では、慣れてきたこのような仕事に加えて、さらに自分には何ができるのかを考えるようになりました。今は受付だけではなく仕事の幅を広げることや、お店を良くしていくための新しい提案をすることを心がけています。自分にとってやりがいある仕事だと思えることができれば、毎日が楽しくなっていきます。そんな仕事をみつけることが皆さんにはできると思いますので、頑張ってください。

短大での仲間は一生の仲間です



元学生自治会会長（幼児教育保育学科

2010年度卒業）大同 左希子

私は今、公立の保育園で臨時職員として働いています。今年は5歳児の担任となり、毎日パワフルです！一緒に担任をしている主任の先生から、支援が必要な子に対しての接し方や配慮の仕方などを教えてもらいながら保育をしています。

今もふと思うことがあります。働き始めた頃は「短大に戻りたい」と、よく思っていました。短大での授業や実習だけではわからないことばかりだったからです。何カ月か経つにつれて、保育の仕方や記録の仕方、保護者との関わり方などが少しずつ分かり「楽しい」と思うようになりました。子どもが好きだけでは出来ない職業とよく言われ

ますが、身をもって実感しました。でもやはり、子どもが可愛いと思えるから、好きだから頑張ることができるのだと思います。

また頑張ってこられたのは、子ども達や園の先生方がいたからです。短大での仲間がいたからでもあります。同じように悩んでいるのが自分だけではないと思え、たまに集まり、お互いの悩みや愚痴を言い合うことで、すっきりしたり違う考え方ができたりと、刺激し合うことができました。みなさんも今一緒に学んでいる仲間を大切にしてください。

ゼミやクラスの仲間や、部活・サークルの仲間は、一生の仲間だと思います。たった2年という短くて濃い2年間ですが、やりたいことはなんでもして、後悔のない充実した時間を過ごしてください。

退職教員あいさつ



学長職の退任にあたって

元学長（本学名誉教授）板倉 安正

滋賀短期大学の学長として6年間、みなさまのご指導、ご協力の下に微力ながら職務を全うすることができましたこと、心より厚くお礼申し上げます。誠にありがとうございました。ただ、任期末には小生の不養生により多くの方にご迷惑をお掛けしましたこと深くお詫び申し上げます。幸い、理事長をはじめ多くの方のお励ましにより回復に向かい、職場にも復帰することができました。純美禮学園のみなさまの暖かさに触れ、理事長のリーダーシップと教職員のみなさまのチームワークの良さというすばらしい職場環境を再認識することができました。改めまして感謝申し上げます。

6年間での大きな課題は男女共学化でした。これは、40年近い女子短期大学としての歴史の転換を図るものであり、また、将来への展開を求められるものでありましたが、理事長から男女共同参画社会への貢献という方針が示され、学内での議論の末、比較的スムーズに共学化は移行しました。議論

の主題は3学科のバランスを保つ方策を追及することになりました。それぞれの学科はこれまでの内容を充実させると共に、時代と社会の要請に応える新しい資格・免許取得の可能性を広げる努力を重ね、お陰様で現在、3学科共に活性化は進んでいます。ここにも本学の特色であるリーダーシップとチームワークの良さが発揮されています。

といいましても短期大学の置かれている状況は厳しいものがあります。学生募集における多面的な展開の要求と共に学生の多様化に対応する学習・生活指導の困難さが派生しています。この解決に奇策はないと思います。これまで通り真面目に誠実に本学の特色を生かして実学教育に徹し、地域にしっかりと根を下ろしていることを評価されることであろうと思います。このような地道な努力から将来の展望が生まれるものと期待しています。滋賀短期大学のますますのご発展を心より祈念いたします。

退職教員

元生活学科教授
（本学名誉教授）

成田 巳代子

元幼児教育保育学科教授
（本学名誉教授）

前川 秀治

元幼児教育保育学科教授
（本学名誉教授）

櫻井 貞夫

元幼児教育保育学科教授
（本学名誉教授）

中村 紀代

元ビジネスコミュニケーション
学科教授

森田 育代



入試情報

平成25年度入学試験のお知らせ

募集学科および募集人員

- 生活学科 80名
生活クリエイティブコース／食健康コース（栄養士養成課程）30名
製菓マイスターコース35名
- 幼児教育保育学科 170名
- ビジネスコミュニケーション学科 100名
ビジネス実務コース／ITビジネスコース／ホスピタリティビジネスコース／健康ビジネスコース／ロジスティクスビジネスコース

滋賀短期大学



A O 入 試（事前面談）			
区 分	I 期	II 期	III 期
受 付 期 間	8月1日(水)～8月3日(金)	8月16日(木)～8月22日(水)	9月10日(月)～9月25日(火)
面 談 日	8月7日(火)・8月8日(水) どちらか1日(受付後、通知します)	8月26日(日)・8月27日(月) どちらか1日(受付後、通知します)	9月29日(土)・9月30日(日) どちらか1日(受付後、通知します)
結 果 発 表 日	8月10日(金)	8月29日(水)	10月2日(火)

※本学卒業生の子・兄弟姉妹および在学生の兄弟姉妹が申込をした場合には、通過判定時に優遇する制度があります。

詳細は入試広報センターまで。

試 験 区 分	公募制推薦入試		一般入試	
	前期(専願・併願)	後期(専願・併願)	I 期	II 期
出 願 期 間	10月1日(月)～10月23日(火)	11月19日(月)～12月4日(火)	1月7日(月)～1月31日(木)	2月18日(月)～3月7日(木)
試 験 日	10月27日(土)・28日(日) 両日受験可能	12月8日(土)	2月5日(火)・6日(水) 両日受験可能	3月12日(火)
合 格 発 表 日	11月2日(金)	12月13日(木)	2月8日(金)	3月14日(木)

以上の他に、大学入試センター試験利用入試、指定校推薦入試、社会人特別入試等があります。平成25年度入学試験等の詳細は、6月中旬頃完成予定の大学案内・学生募集要項でご確認をお願いします。

本学独自の奨学金制度もあります。

「純美禮学園奨学金（優待奨学生制度）」…純美禮学園に兄弟姉妹で2人以上の在籍があるとき、その弟か妹を対象に授業料の1/2を支給します。

●オープンキャンパス 6/30(土)、7/14(土)、7/29(日)、8/19(日)、9/8(土)

滋賀短期大学を一人でも多くの高校生に知ってもらおうと、今年も色々趣向をこらして開催します。

また、今年も秋のオープンキャンパスを純美禮祭（学園祭）中の11月10日(土)に開催します。

是非、受験生のお知り合いがいっぱいでしたら、その方にも是非お声掛けください。宜しくお願い申し上げます。

●学校見学について

滋賀短期大学のキャンパスをいつでもご見学いただくことができます。また、大学案内など資料を配布しております。

【見学受付】 平日（9：00～16：30）は、入試広報課まで直接お越しください。大学案内・願書等の資料配布、キャンパス内の案内をいたします。

土曜日・日曜日・祝日は、玄関でキャンパスマップ、大学案内等の資料を配布しております。キャンパス内は自由に見学できます。

平成24年度入試結果 【志願者高校一覧（AO入試事前面談含む）】

平成24年度の志願者総数は395人で、364人の合格を発表しました。出願のあった高校は、つぎのとおりです。

北海道 星槎国際 秋田県 大館桂 石川県 羽咋 福井県 若狭、若狭東、仁愛女子、敦賀気比 長野県 長野東、松本県ヶ丘 三重県 伊賀白鳳、名張桔梗丘 滋賀県 堅田、大津、瀬田工業、大津商業、彦根西、彦根工業、彦根翔陽、長浜、長浜北、長浜農業、長浜北星、八幡、八幡商業、八日市、八日市南、草津、栗東、野洲、水口、水口東、甲南、信楽、日野、能登川、愛知、米原、伊香、高島、安曇川、草津東、湖南農業、河瀬、玉川、守山北、甲西、伊吹、北大津、国際情報、大津清陵、石部、聾話学校高等部、近江、近江兄弟社、綾羽、滋賀学園、彦根総合、滋賀短期大学附属 京都府 朱雀、洛東、桂、北嵯峨、桃山、田辺、園部、東舞鶴、宮津、東稜、洛陽工業、日吉ヶ丘、南丹、久御山、農芸、鳥羽、西乙訓、京都学園、京都文教、京都光華、京都産業大学附属、同志社女子、京都西山、平安女学院、洛陽総合、福知山成美、福知山淑徳、京都翔英 大阪府 明浄学院、長尾谷 兵庫県 鳴尾、豊岡 奈良県 天理、奈良女子、天理教校学園、聖心学園中等教育学校 和歌山県 耐久、新宮、国際海洋第二 鳥取県 米子松蔭 山口県 長門 香川県 尽誠学園 宮崎県 日向、鵬翔、都城東 その他 高卒認定試験合格、外国の学校

願書のご請求・質問お問い合わせはこちらまで。 入試広報センター（入試広報課） TEL：077-524-3848 メール：tnyusi@sumire.ac.jp

短期大学行事等開催状況（平成23年12月～平成24年5月）

（総務課に届け出のあったものの一部を掲載しています。：短大事務局）

12月

- 1 日(木) 1 回生対象人権講演会／すみれがーでん／12月教授会
- 2 日(金) ビジネス能力検定3級講座
- 3 日(土) 公務員試験対策講座
- 4 日(日) MOS講座
- 6 日(火) 保育所実習連絡協議会
- 8 日(木) 教務委員会／学生支援委員会／就職支援講座
- 9 日(金) ビジネス能力検定3級講座
- 10 日(土) 第2回医事管理士資格認定試験／公務員試験対策講座
- 11 日(日) MOS講座
- 12 日(月) 栗東高校来学
- 13 日(火) 学生募集委員会
- 15 日(木) すみれがーでん／生活科会／幼教科会／ビジコミ科会
- 16 日(金) ビジネス能力検定3級講座
- 17 日(土) 公務員試験対策講座
- 18 日(日) MOS講座
- 19 日(月) 学園事務連絡会議
- 22 日(木) 就職支援講座／企画委員会／基本事項検討委員会
- 23 日(金) 月曜日指定授業
- 24 日(土) 公務員試験対策講座／MOS試験
- 26 日(月) 授業冬期休業～（1月4日）
- 27 日(火) 仕事納

1月

- 5 日(木) 仕事始／授業再開／職員人権研修会／1月教授会／就職支援講座
- 6 日(金) ビジネス能力検定3級講座
- 7 日(土) 公務員試験対策講座／MOS講座
- 10 日(火) 補講日
- 11 日(水) 就職ガイダンス（幼教）
- 12 日(木) 午前補講日／午後指定授業／すみれがーでん／教務委員会／学生支援委員会／広報・図書委員会
- 13 日(金) ビジネス能力検定3級講座
- 14 日(土) センター入試／公務員試験対策講座／MOS講座
- 15 日(日) センター入試
- 17 日(火) 学生募集委員会
- 19 日(木) 就職支援講座／生活科会／幼教科会／ビジコミ科会
- 20 日(金) ビジネス能力検定3級講座
- 21 日(土) 第2回医療管理秘書士資格認定試験／公務員試験対策講座／MOS講座
- 26 日(木) すみれがーでん／臨時教授会／企画委員会
- 30 日(月) 後定期試験（～2月3日）

2月

- 2 日(木) 教務委員会／学生支援委員会／広報・図書委員会
- 4 日(土) 公務員試験対策講座／MOS講座
- 5 日(日) MOS講座
- 6 日(月) 保育所・施設実習（～3月20日）／就職ガイダンス（生・ビジ対象）／ビジネス能力検定3級講座
- 7 日(火) 一般入試Ⅰ期試験
- 8 日(水) 一般入試Ⅰ期試験
- 9 日(木) ビジネス能力検定3級講座／すみれがーでん／2月教授会／学生募集委員会／FD委員会
- 10 日(金) ビジネス能力検定3級講座
- 11 日(土) MOS試験
- 13 日(月) P検講座
- 14 日(火) P検講座
- 15 日(水) P検講座
- 16 日(木) P検講座／生活科会／幼教科会／ビジコミ科会
- 17 日(金) 卒業予定者学生満足度調査／2回生後期成績交付／P検講座

- 18 日(土) P検定試験
- 20 日(月) 2 回生後期再試験
- 21 日(火) P検講座
- 22 日(水) 公務員模試／P検講座
- 23 日(木) 就職ガイダンス／P検講座／すみれがーでん／企画委員会
- 24 日(金) 就職ガイダンス／P検講座
- 25 日(土) P検定試験
- 27 日(月) 学園事務連絡会議

3月

- 1 日(木) ICT-WG／3月教授会
- 7 日(水) 第1回ピアノ基礎講座
- 8 日(木) すみれがーでん／教務委員会／学生支援委員会／学生募集委員会／広報・図書委員会
- 13 日(火) 一般入試Ⅱ期試験他
- 14 日(水) 臨時教授会
- 15 日(木) 卒業式／卒業記念パーティー（於：大津プリンスホテル）
- 16 日(金) 幼教科会
- 21 日(水) 新入生学生生活オリエンテーション／1 回生後期成績交付／教務オリエンテーション／第2回ピアノ基礎講座／栄養士対策ガイダンス
- 22 日(木) 1 回生後期再試験／企画委員会／基本事項検討委員会／ビジコミ科会
- 23 日(金) 生活科会
- 24 日(土) 非常勤講師予定者教務説明会／各学科別教務打合せ会
- 26 日(月) 医師会認定医療秘書運営委員会
- 27 日(火) オープンクラス
- 29 日(木) 教務委員会
- 30 日(金) 退職辞令交付／離任式

4月

- 2 日(月) 辞令交付式／4月教授会
- 3 日(火) 入学式
- 4 日(水) オリエンテーション／教務委員会
- 5 日(木) オリエンテーション
- 6 日(金) フレッシュマンセミナー（於：大津プリンスホテル）
- 9 日(月) 前期授業開始
- 12 日(木) 就職支援講座／教務委員会／拡大学生募集委員会／広報・図書委員会
- 17 日(火) ビジネス能力検定3級講座
- 19 日(木) 生活科会／幼教科会／ビジコミ科会
- 24 日(火) ビジネス能力検定3級講座
- 26 日(木) 就職支援講座／下宿生の集い／企画委員会
- 28 日(土) 保育士模試

5月（予定も含む）

- 1 日(火) ビジネス能力検定3級講座
- 8 日(火) ビジネス能力検定3級講座／留学生交流会
- 9 日(水) 学園永年勤続者表彰式
- 10 日(木) 創立記念日／5月教授会
- 15 日(火) ビジネス能力検定3級講座／公立教員説明会（生活）
- 17 日(木) 教務委員会／学生支援委員会／広報・図書委員会／就職支援講座
- 19 日(土) 公務員模試
- 22 日(火) ビジネス能力検定3級講座
- 24 日(木) 生活科会／幼教科会／ビジコミ科会
- 26 日(土) 月曜日指定授業（幼Ⅱ）
- 29 日(火) ビジネス能力検定3級講座
- 31 日(木) 企画委員会／就職支援講座

「教員の主な研究活動・社会的活動の紹介」2011年度（2011年4月～2012年3月）

●出版物

- 諏訪 佳代 ■（共著）『保育・教育を考える』第2部第4章第3・4節、第5章第2節 あいり出版4月
越後 哲治 ■（共編著）『保育・教育を考える』あいり出版4月／（共著）『自ら学ぶ道徳教育』保育出版社12月
越智 純子 ■（共著）『子どもの保健—子どもたちの健やかな心と体を育み守るために—』あいり出版3月
森田 育代 ■（共著）『ビジネス文書—オフィスワーカーの実務—』建帛社4月

●本研究紀要第37号掲載学術論文(2月)サブタイトル省略

- 板倉 安正 ■（共著）An Idea of WCCC-EEE (World Common Core Curriculum of Education in Energy and Environment)
栗本麻衣子・高橋ひとみ・中平真由巳
■（共著）滋賀県における行事食の認知・経験の世代間比較
高橋ひとみ・栗本麻衣子・中平真由巳
■（共著）先人の知恵を未来へつなぐ料理教室の検討
古橋紗人子・安井 恵子
■（共著）[乳児保育]の授業研究Ⅰ
安井 恵子・手良村昭子・古橋紗人子・荻田 純久
■（共著）認定こども園における子育て支援の課題
柿木 重宜 ■（単著）国語調査委員会と藤岡勝二の国語観について
森田 育代 ■（単著）「江戸しぐさ」に見る陽明学の影響
片山 友子 ■（単著）医師事務作業補助者の導入とその効果および今後の課題に関する事例研究

●学術論文

- 中平真由巳 ■（共著）国産菜種油の調理特性の比較 日本食品科学工業学会誌58巻4月
山本 剛史 ■（単著）選手のパーソナリティを把握したコーチング法の一事例研究—女子バスケットボールチームを対象として—立命館大学大学院修士論文2月
柿木 重宜 ■（単著）近代「国語」の成立における藤岡勝二の果たした役割について 大阪大学博士論文2月
江見 和明 ■（単著）介護領域における人材育成—ホームヘルパー養成の現状と課題—経営学論集第81集『新たな経営原理の探究』9月
末澤亜矢子 ■（共著）The Use of Please in Requests Made by Japanese Learners of English同志社女子大学英語英文学会「ASPHODEL」第46号7月
片山 友子 ■（共著）肺がん検診受診率向上が死亡率および医療費に及ぼす影響の検討 日本総合健診医学会誌39巻3月

●学会発表など サブタイトル省略

- 成田巳代子 ■（共同）色弱者に配慮した衣服の色表示に関する研究（7）日本家政学会第63回大会5月
中平真由巳 ■（共同）揚げ調理に関する教育媒体の開発とその効果の評価 日本調理科学会平成23年度大会8月
長尾 綾子 ■（共同）圧力鍋によるじゃがいも煮物の調理特性 日本調理科学会平成23年度大会8月／（共同）淡口醤油の調理特性 日本醤油技術センター第73回研究発表会10月
栗本麻衣子・高橋ひとみ・中平真由巳
■（共同）近畿における行事と行事食の認知・経験の世代間比較（滋賀県）日本調理科学会平成23年度大会8月
高橋ひとみ・栗本麻衣子・中平真由巳
■（共同）子どもたちの自由な発想の芽を育てる子供

料理教室 第5回日本食育学会学術大会5月／（共同）伝統食リレー 第65回全国レクリエーション大会INしが9月

- 古橋紗人子・安井 恵子
■（共同）「乳児保育」の授業研究—予習重視の演習授業のあり方の考察—平成23年度全国保育士養成協議会研究セミナー9月
山本 剛史 ■（共同）バスケットボール選手のパーソナリティをとらえたコーチングの検討・球技選手の敏捷性を評価する505testの検討 第62回日本体育学会9月／（共同）バスケットボールフリースローにおける質的分析を用いたコーチングの事例研究 第141回京都体育学会3月
手良村昭子 ■（単）保育内容「表現」の授業における影絵遊びの実践を通して 日本保育学会第64回大会5月
柚木たまみ ■（単）自宅訪問セッションがもたらしたクライアントと家族介護者の絆の確認 日本音楽療法学会第10回近畿学術大会3月
片山 友子 ■（単）学生の医療秘書に寄せる関心と実際および今後の教育課題 医療秘書実務学会第2回全国大会8月／（共同）The Reduction Rate of Death from Cancer and the Cost of Lung Cancer by Increasing the Cancer- Screening Rate International Health Evaluation & Promotion Association 2012 Tokyo Meeting 1月

●展覧会・演奏会（国内）ほか

- 櫻井 貞夫 ■銅版画「Rémiscence 091019」他 第18回心に響く小品展 ギャラリーヒルゲート 6月～7月／銅版画「Rémiscence10-2」京の芸術家たち—現在そして未来—京都アートフェア みやこめっせ7月／銅版画「Rémiscence10-8」第56回CWAJ現代版画展 東京アメリカンクラブ・神戸外国倶楽部10月／銅版画「Rémiscence06-2」第50回記念京都銅版画協会展 京都府立文化芸術会館1月／銅版画「Rémiscence 191028」他 第20回折々の作家たち展 ギャラリーヒルゲート1月～2月
手良村昭子 ■銅版画個展「やさしい光が届く場所」6月・fulare_padLiveのための舞台壁面製作6月・12月 東近江市ファブリカ村/第12回公募・風展 ギャラリー風の門10月/第28回「遊展」art space東山12月
柚木たまみ ■第65回滋賀県美術展覧会オープニングセレモニー 滋賀県立近代美術館 講堂12月／The TARO Singers in AWAJI しづかホール12月／The TARO Singers アカペラクリスマスコンサート 神戸朝日ホール12月／ドビュッシーのその周辺第4回～ドビュッシーとヴェルレーヌ 雅な宴～京都文化博物館別館ホール2月／Musik als Hoffnungsstrahl～音のしらべ希望の光～学園前ホール3月/被災地支援コンサート2012～届けよう、音楽のちから～ザ・フェニックスホール3月

●その他の印刷物

- 中平真由巳 ■（単著）湖国のバランスガイド 秋の献立 朝食「とろろ汁」10月・冬の献立 夕食「じゅんじゅん」2月中日新聞 食文化記事／（単著）産学官連携ブランド商品開発 日本経済新聞11月／（単著）第4回海外食文化研修報告 ラオス「生活を紡ぐ女性たち」滋賀の食事文化研究会年報12月
中平真由巳・高橋ひとみ
■（共同）滋賀の伝統的な料理を活用した食事バランスガイド 滋賀の食事文化研究会3月／（共同）産学官連携ブランド商品開発 中日・毎日・京都・日本経済・読売新聞1月～2月

- 諏訪 佳代 ■ (単著) 児玉衣子著『フレーベル近代乳幼児教育・保育学の研究—フリードリッヒ・フレーベル著『母の歌と愛撫の歌』の教育方法的検討から』の書評教育思想史学会『近代教育フォーラム』第20号9月
- 高橋ひとみ ■ (単著) 第4回海外食文化研修報告 ラオスCooking School ～「Tum Tum Cheng」～滋賀の食文化研究会年報12月/(単著) 湖国の食事バランスガイド「打ち汁」中日新聞1月
- 古橋紗人子 ■ (単著)『月刊保育とカリキュラム』ひかりのくに株式会社 毎月連載

●国際的活動

- 櫻井 貞夫 ■ 銅版画「Réminiscence10-7」第9回国際現代銅版画ビエンナーレ プラハバ州立美術館(ルーマニア)/銅版画「Réminiscence10-1」他 第16回バルナ国際版画ビエンナーレ バルナ市立美術館(ブルガリア) 5月/銅版画「Réminiscence06-3s-6」他 第14回国際版画トリエンナーレ ウッジ市立美術館(ポーランド) 6月～7月/銅版画「Réminiscence10-7」他 スプリット国際グラフィックビエンナーレ 2011 スプリット市立美術館(クロアチア)・ビューゴ美術館(ベルギー) 10月～11月/銅版画「Réminiscence 06-1」他 イスタンブール国際版画展 ギョニョル絵画彫刻美術館(トルコ) 10月
- 山本 剛史 ■ バスケットボール公式戦参加・プレゼンテーション コマース大学(アメリカ) 12月・2月/バスケットボール公式戦視察 ロングビーチ大学(アメリカ) 12月・2月
- 柚木たまみ ■ Liszt au Palais・Play Liszt à Strasbourg Palais du Rhin(フランス) 5月/Entre les parenthèses du silence...Trois poètes du Rock Auditorium, Cité de la musique et de la danse Strasbourg(フランス) 5月/Mélodies d'Espagne et d'Amérique du Sud Salle d'Orchestre, Conservatoire de Strasbourg(フランス) 5月/Concert de spécialisation Salle d'Orgue, Conservatoire de Strasbourg(フランス) 6月/Concert d'étudiants d'Académie Auditorium de conservatoire de Nice(フランス) 7月
- 山中 博史 ■ 和安国際児童学校視察及び訪問・巢湖幼児師範学校との学術交流(中国) 2月

●学外活動

- 手良村昭子 ■ 「遊びの学校」参加のための学生引率 イオンモール草津 8月
- 山中 博史 ■ 全国レクリエーション大会研究フォーラム運営及び学生引率 龍谷大学 9月

●委員など社会的活動

- 成田巳代子 ■ 日本家政学会色彩・意匠学部 部会長 2011年度
- 木谷 康子 ■ 滋賀県農業協同組合生活指導員資格認証試験委員会委員 2011年度/同第1回委員会 6月/同第2回委員会 12月
- 中村 紀代 ■ 全国大学体育連合近畿支部理事 2011年度
- 古橋紗人子 ■ 野洲市次世代育成支援対策地域協議会会長 2011年度/滋賀県幼児体験型環境学習検討委員会委員長 1月
- 山本 剛史 ■ 関西女子バスケットボール連盟総務部長 2011年度/滋賀県バスケットボール協会理事 2011年度/近畿・大阪私立短期大学女子総合体育大会総務委員(競技委員長) 10月/
- 柚木たまみ ■ 京都フランス歌曲協会企画委員 2011年度
- 森田 育代 ■ 日本秘書協会理事 2011年度/日本秘書協会関西支部代表 2011年度
- 柿木 重宜 ■ 全国大学国語国文学会委員 12月/京都地名研究会常

任理事 2011年度

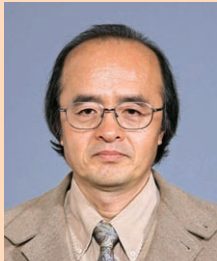
江見 和明 ■ 日本消費経済学会理事

●講演会ほか

- 木谷 康子 ■ 「生活経営論」講習 滋賀県農業教育情報センター 10月
- 中平真由巳 ■ 滋賀短期大学附属高等学校保護者と教師の会講演会「食卓をつなぐ!」～心と技のリレー～滋賀短期大学附属高等学校 5月/滋賀医科大学・滋賀短期大学 共催講座 食事で健康!～未来に備えて スローフードエブリデー～ 本学 8月/全国レクリエーション協会 滋賀の郷土料理試食 龍谷大学 9月/京都放送滋賀放送局出演「近江美味しいもの」～湖国のバランスガイド10月・2月
- 中平真由巳・高橋ひとみ ■ 栄養士会 児童福祉施設における料理講習会 本学 9月/びわ湖放送出演「キラリン滋賀」サークル紹介 2月/京都放送滋賀放送局出演「音楽わいど ラジオ・ビュー」「ごきげんさんち」～エゴマを使ったジャムとドレッシング～ 2月/ FM滋賀出演e-ラジオHappy!「アラシガ」～産官学で開発したエゴマ新製品紹介～ 3月
- 中平真由巳・高橋ひとみ・栗本麻衣子 ■ 桃山学院高等学校PTA 教養委員会料理講座～とおきケーキサレと夏色のびん詰め～桃山学院高等学校 8月
- 栗本麻衣子 ■ 子ども料理教室びわ湖子どもの国 5月
- 鈴木 晴香 ■ こども料理教室びわ湖子どもの国 3月
- 高橋ひとみ ■ こども料理教室10月・11月びわ湖こどもの国/京都放送滋賀放送局出演「近江美味しいもの」滋賀の食事バランスガイド1月
- 奥田 恵子 ■ 高大連携講座「こどもの学びを知る」本学 8月/家庭教育支援講座 浜川市民センター 9月・10月/北山台子供会クリスマス会 湖南市北山台自治会館 12月
- 越智 純子 ■ 濃密な医療的ケアを要する生徒に関するアドバイス 7月・重度心身障害児の呼吸・摂食に関する問題点と対応法 1月 京都府立南山城支援学校
- 櫻井 貞夫 ■ 保育士対象実技講習会 たちばな保育園 11月
- 早川 滋人 ■ ボランティア養成基礎講座「高機能自閉症・アスペルガー症候群の理解と支援」野洲10月
- 古橋紗人子 ■ 大阪府 0, 1, 2歳児保育専門ゼミナール 年間/神戸市公私立保育所「乳児保育」研修 6月～12月/児童家庭相談所草津・彦根一時保護所ボランティア養成講座 7月/日本赤十字社 育児ボランティア養成講座 7月/平成23年度近畿ブロック保育研究集会 7月/滋賀県保育所調理担当者研修会 9月
- 山本 剛史 ■ 野洲ミニバス講習会講師 野洲総合体育館 5月/日本体育協会公認スポーツ指導員養成講習会 膳所高校 12月
- 荻田 純久 ■ 保育相談 洛東幼稚園 5月・7月・12月/家庭的保育研修事業「乳幼児の発達と心理」8月・「子ども(3歳未満児)の心身の発達と保育」2月 本学
- 柚木たまみ ■ 第3回ALS患者に対する在宅音楽療法プロジェクト 10月
- 森田 育代 ■ 大津市立石山中学教員用マナー講座 本学 8月/石山中学の勤労福祉体験学習「GO! 5! ワーク石山」本学 9月・10月/すみれがーでん「日常の社会人マナー」本学 2月
- 柿木 重宜 ■ 全国大学国語国文学会研究発表司会 12月
- 末澤亜矢子 ■ 滋賀短期大学公開講座第5回こどもの講座こども英語教室～Let's Enjoy Kids English～本学 8月

この紹介は、本人の報告書から作成いたしました。

全国保育士養成協議会より永年表彰をお受けして



平成24年2月1日付けで、社団法人全国保育士養成協議会から表彰をいただきました。

本学に勤務して37年、幼児教育保育学科で保育士養成教員として、主に「図画工作」を担当してまいりましたが、このたびの表彰は身に余る光栄に存じます。

私は幸運にも、本学で勤めながらにして、御二人の先人から直接ご教授いただくことができました。お一人は美術の初代教授古野由男先生。もう一方は後任の上田晴也先生です。古野先生からは美術教育の本質を、上田先生からはその教授法を学ばせてい

元幼児教育保育学科教授（本学名誉教授） 櫻井 貞夫

ただきました。上田先生からの「絵がうまければ授業もうまいはずだ。」とのお言葉に勇気づけられ、「授業もまた創作」という考え方で今日まで楽しく取り組むことができました。

私はこの3月をもって創作に専念するために退職いたしました。これまで多くの学生の皆さんが、真剣に色や形の世界に挑んでくれたことをうれしく思っております。そして何より、最初は造形が苦手だった学生も、創作体験の積み重ねによって意欲が高まり、純粋に造形を好きになっていくことは、私自身のやりがいでもありました。

本学から巣立ち、保育現場でご活躍の皆さんのご健康と益々のご活躍を祈念いたします。

事務組織が改編されました

平成24年度より学務課が教務課と学生支援課に改編され、従来の総務課・入試広報課と併せて4課となりました。これにともなって事務職員の配置換えも行い、事務組織の一層の充実を図ります。

人事の異動

退職 (平成24年3月31日付)		採用 (平成24年4月1日付)		昇任 (平成24年4月1日付)	
学長・教授	板倉 安正	学長・教授	佐藤 尚武	教授	中平 真由巳 (准教授)
教授	成田 巳代子	准教授	深尾 秀一	教授	荻田 純久 (准教授)
教授	前川 秀治	准教授	北尾 岳夫	准教授	長尾 綾子 (講師)
教授	中村 紀代	講師	松木 宏史	講師	諏訪 佳代 (助教)
教授	櫻井 貞夫	特任教授	金丸 政義	講師	片山 友子 (助教)
教授	森田 育代	特任教授	陣内 皓之祐	事務局次長兼学生支援課長	福地 茂 (学務課長)
学務課課長補佐	新堂 正春	特任教授	清水 たま子	教務課長心得	高田 伸子 (学務課長補佐)
保健室長	藤原 京子	特任准教授	戸田 賀志子	配置換え (平成24年4月1日付)	
嘱託職員	小根澤 千賀子	特任准教授	前川 頼子		
嘱託職員	戸田 和美	保健室長	平田 綾子	学生支援課係長	山本 真砂子 (総務課係長)
		嘱託職員	中井 孝枝	教務課主任	田中 知恵子 (学務課主任)
		嘱託職員	瀧本 彩葉	学生支援課主任	松田 美枝 (学務課主任)
				教務課主任	酒井 弘子 (学務課主任)
				教務課主事	辻 順一 (入試広報課主事)
				入試広報課主事	池田 貴彦 (学務課主事)
				総務課主事	高木 則子 (学務課主事)

訃報

名誉教授 神田 喜夫 平成24年1月12日逝去
准教授 南 壽樹 平成24年1月23日逝去

滋賀短期大学 学報

2012年6月1日 No. 71

〒520-0803 大津市竜が丘24-4 滋賀短期大学 広報・図書委員会 電話(077)524-3605

HP : <http://www.sumire.ac.jp/tandai/>